

安心の先にある 魅力的な働くための空間。

/ 働くための空間の骨格にある「不安」を「安心」に展開する

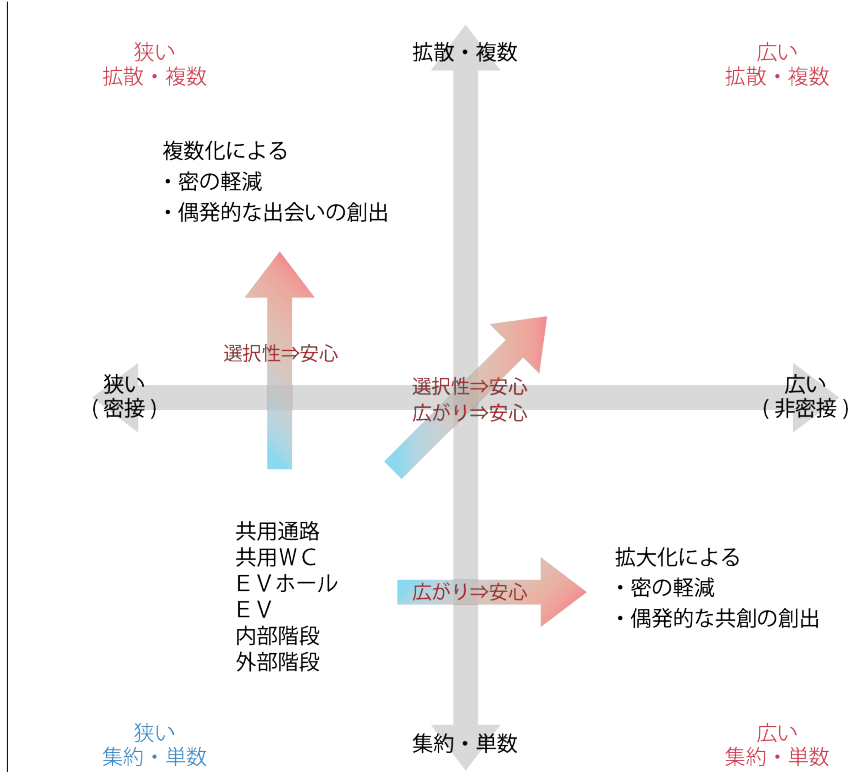
/ 安心と魅力を生み出す空間構成

/ 安心から考える働くための空間の新たな魅力

働くための空間の骨格にある「不安」を「安心」に展開する

テレワークの普及により、いつでもどこでも働くことができるようになった。業務の効率化が進んだ一方で、リアルに直面する価値が、改めて認識された。しかし、人と会う「集まる」ことは、感染リスクを伴う。そこで建築は、不安を解消し安心を確保する役割を担う必要が生まれた。非接触や換気・密の見える化など、Withコロナにおける安心のための設備・ITソリューションが実装されはじめている。心理的な安心感は、今後も、個人・組織がパフォーマンスを発揮する前提になると仮定し、建築計画から再考する。

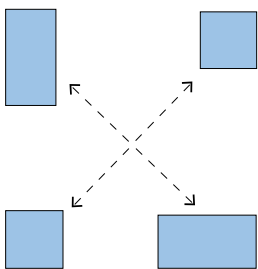
Afterコロナにおける働くための空間は、「集まる」ことに対する安心を確保すると共に、更なる魅力的な価値を見出すことが重要である。安心のための工夫が、新たな価値創造にも繋がることを理想に掲げ、Afterコロナに向けた魅力的な働くための空間を考察する。



安心と魅力を生み出す空間構成

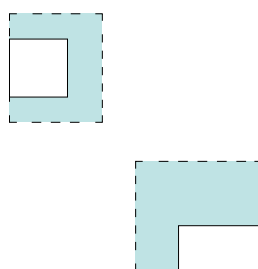
■ 縦動線の分散配置

安心：動線に選択肢により密集を軽減
魅力：偶発的な共創の場となる



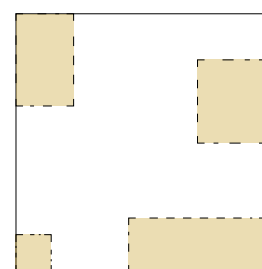
■ 共用部の拡大

安心：空間を拡大により密接を軽減
魅力：偶発的な共創の場となる



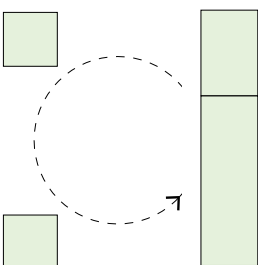
■ 外部空間の導入

安心：換気性能がよく、密閉を回避
魅力：外気に触れ、ON/OFFの切替促進



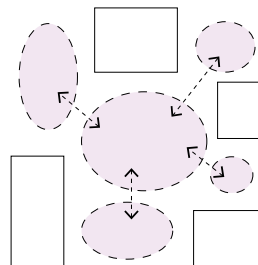
■ 動線の回遊性

安心：回遊的な動線により密集を軽減
魅力：歩行による偶発的な出会い・刺激



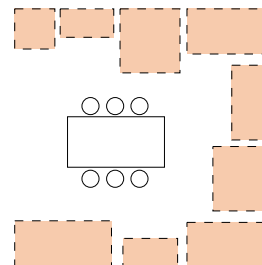
■ 選択可能な働く場

安心：働く場の選択肢により密集を軽減
魅力：仕事に合わせた働く場の多様性



■ エリアの専門化

安心：使用者の限定による安心の向上
魅力：仕事に合わせた働く場の多様性



安心から考える働くための空間の新たな魅力

オフィスにしかない特殊な設備

実験設備など、オフィスにしかないものの活用や業務の遂行を行う場所

モノを介した共創スペース

実際にモノに触れ、ディスカッションができるクリエイティブスペース

吹き抜けのある階段

社内の縦動線を分離し、整理することで安心できるオフィスを提供。吹抜による上下階の繋がりを実現

多目的スペース

来客との接触を減らしつつ、簡易な来客対応が可能な広い共用部

WEB会議ブース

WEB会議可能な環境を整えた個室ブース

インフォボード

ITによる見える化。オフィスの利用状況などを掲示

非接触対応WC

自動制御を用いた安心なWC。縦動線と分離することで、動線を整理し安心感を高める

来客用テラス

来客対応も可能な外部の打合せスペース。外気に触れ、密な空間を回避

換気しやすい建具

雨がかからない箇所に自然換気窓を採用

ハイスペックソロワーク

自宅、サードプレイスよりもはるかに、効率的かつ効果的に集中作業できる個人ブース

仕事もできるテラス

外気に触れながら安心して、打合せやソロワークができる広々としたテラス

リフレッシュスペース

共用部を広げた多用途な空間。密を避けつつ、気分転換や雑談のためのリフレッシュコーナー

コミュニケーションラウンジ

リアルオフィスの価値である対面コミュニケーション、技能伝承・OJTを重視したラウンジ。周りの音が混ざらないようにサウンドマスキングを活用